

清田校区まちづくり
推進計画書



豊かな自然環境
みんなに愛される地域
みんなで作る

平成29年3月策定・令和5年4月改訂
清田校区コミュニティ協議会

目 次

序 章 はじめに

- ①改訂にあたり 2
- ②校区マークについて 2

第1章 校区概要

- 第1項 校区の現状
 - ①位置・面積・人口・世帯数 3
 - ②校区運営（組織・行事） 4
- 第2項 構成地区の現状
 - ①校区構成地区の概況 5
- 第3項 校区等のまちづくり経過等
 - ①校区の歴史等の概要 7
 - ②校区内で行われた主な事業 9

第2章 現況・課題等

- 第1項 地域課題・長所・資源 11
- 第2項 土地利用計画・整備計画 13
- 第3項 まちづくり現況図 14

第3章 将来像等

- 第1項 地域コミュニティ活動の必要性 16
- 第2項 地域の将来像 16
- 第3項 まちづくりの方針 17

第4章 主要施策

- 第1項 施策の展開 18
- 第2項 まちづくりの主要施策 18
- 第3項 まちづくり計画図 23

第5章 推進体制

- ①進行管理 24
- ②計画の周知 24
- ③実施の推進 24
- ④実現の調整 24

資料編 策定組織・経過

- ①清田校区まちづくり推進計画策定委員名簿 25
- ②計画策定の経過 25

① 改訂にあたり

策定当初から清田校区のまちづくりは、まず地域の宝（地域の特性）を探しながら、まちを育てていくことが大切であると考え、テーマを「豊かな自然環境、みんなに愛される地域、みんなで作る」とし、地域コミュニティ活動に積極的に取り組み、住民相互の共通理解を図り、信頼と連帯感を高め、潤いと活力のある地域づくりを推進してきました。昨今、全国各地で発生している甚大なる自然災害や新型コロナウイルス感染症による社会生活の変化がもたらす影響などにより、改めて人と人とのつながり、助け合いの意識など「絆」の大切さを深く感じています。

主体はあくまでも住民であることを忘れないで、「自分たちの地域は、自分たちで創る」という意義、目標を明確にし、将来を見据えた新しい地域づくりに取り組んでいきたいと思えます。本年度、情報伝達のデジタル化をめざし、ICTを活用した地域住民とのネットワークを構築する実証実験への参加も検討してきました。

この計画書は、校区まちづくりの具体的な指針を示すもので、住民一人一人が参加し、みんなで協力して推進していくための目安です。

平成28年度に策定された校区まちづくり推進計画の現状、課題等を再確認し、一部改訂を行いました。今後、本計画の実現に向け、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

② 校区マークについて

四葉のクローバーは幸福の象徴です。また、4枚の葉は山田・高木・折立・古田の4つの地区をあらわしています。校区民が仲良く協力し合い、幸せなまちを築き上げていく願いが込められています。



「kiyota」のロゴマークと葉柄は右上がりにデザインし、校区の進歩・発展・向上の意味を持たせています。色の青は校区の海を、緑は山の豊かな自然、そして田・畑の産業の発展を目指しています。

作：古田地区在住
大岩 宗司氏

第1章

校区概要

第1項 校区の現状

① 位置・面積・人口・世帯数

[位置・面積]

清田校区は、福江湾に面した田原市北西部に位置し、面積は約830haで、市内20コミュニティ協議会区中10番目の広さです。

国道259号沿いに市街地や農地が混在し、校区の南部は山林地帯、北部は福江湾に面した自然豊かな校区となっています。



[人口・世帯数]

清田校区の人口は、令和4年3月末現在で2,118人(男性1,059人、女性1,059人)、世帯数は、744世帯となっています。14歳以下の年少人口は240人で11.3%、15歳から64歳の生産年齢人口は1,132人で53.4%、65歳から74歳の前期高齢者人口は337人で15.9%、75歳以上の後期高齢者人口は409人で19.3%となっています。

65歳以上の高齢者人口は746人で、高齢化率は35.2%で市平均(29.2%)より高くなっています。

また、世帯当りの構成員数は2.85人で市平均(2.66人)より多くなっています。

(各年度末の状況)

年齢区分	平成27年度		令和3年度		増減	
14歳以下	男	148人	男	132人	男	△ 16人
	女	98人	女	108人	女	10人
	計	246人	計	240人	計	△ 6人
15歳～64歳	男	647人	男	600人	男	△ 47人
	女	615人	女	532人	女	△ 83人
	計	1,262人	計	1,132人	計	△ 130人
65歳～74歳	男	169人	男	154人	男	△ 15人
	女	196人	女	183人	女	△ 13人
	計	365人	計	337人	計	△ 28人
75歳以上	男	155人	男	173人	男	18人
	女	228人	女	236人	女	8人
	計	383人	計	409人	計	26人
計	男	1,119人	男	1,059人	男	△ 60人
	女	1,137人	女	1,059人	女	△ 78人
	計	2,256人	計	2,118人	計	△ 138人
世帯数	741世帯		744世帯		3世帯	
世帯当り構成員数	3.04人		2.85人		△ 0.19人	

② 校区運営（組織・行事）

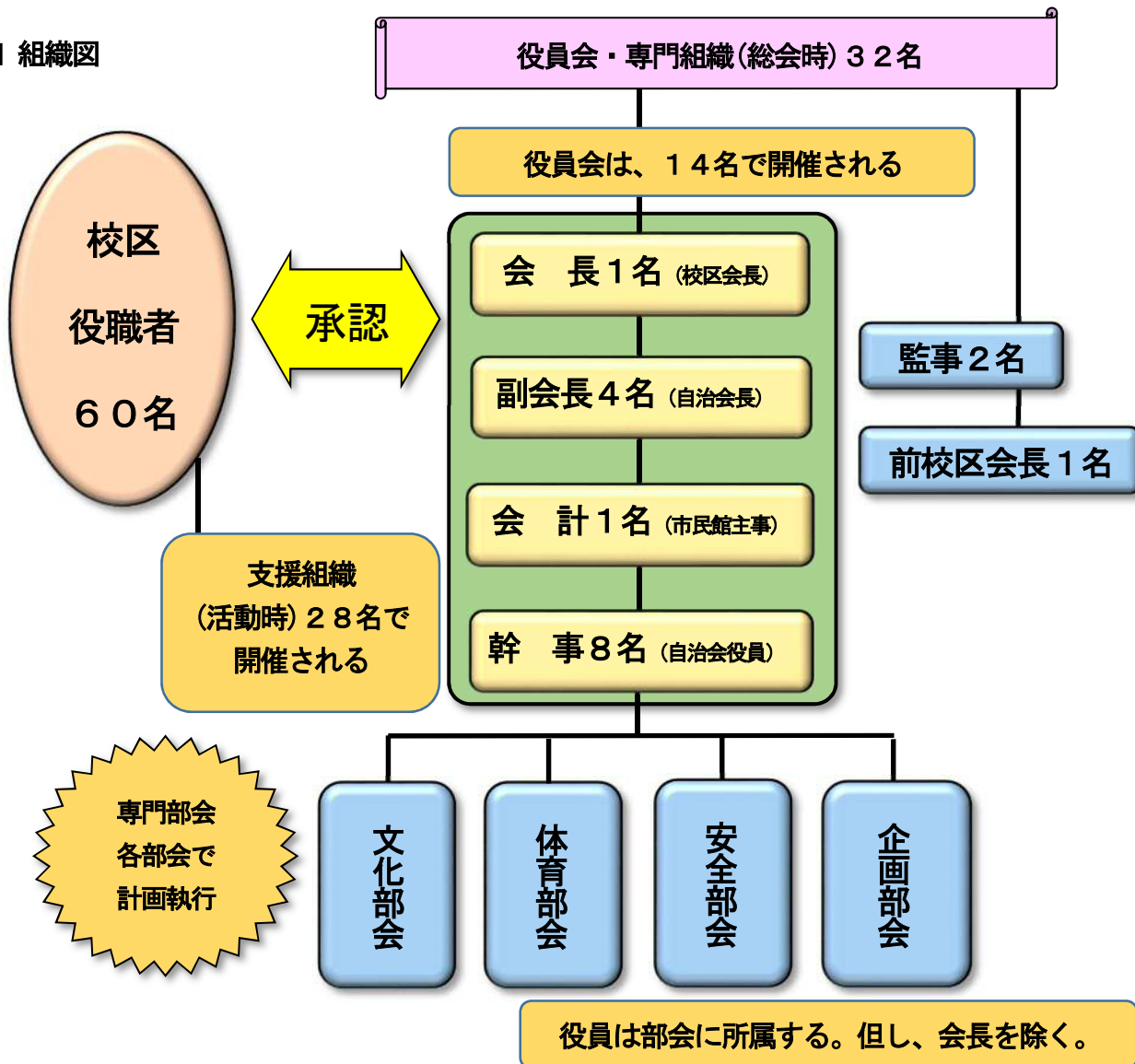
[校区運営]

清田校区は、山田、高木、折立、古田の4地区で構成されています。

運営の主体は、清田校区コミュニティ協議会が行っており、年1回の総会の開催、月2回の地区会長会議の開催のほか、役員会、専門部会が設置されています。

会長、副会長等を役員会構成員として計画立案しています。

■ 組織図



■ 行事

清田校区の年間主催行事は、以下のとおりです。

行事種別	行事の名称	担当部会・支援組織
文化行事	市民館まつり 各種講座	役員会、文化部、PTA・子ども会等
スポーツ行事	各種スポーツ教室・大会	役員会、体育部、スポーツ普及員等
環境美化活動	清掃活動 田原を美しくする推進デー	役員会等
福祉活動	ふれあい昼食会 交通安全講話	役員会、企画部等
ふれあい活動	潮干狩り 清田ウォーキング	役員会等
防災活動	避難所開設運営訓練	役員会、安全部等

第2項 構成地区の現状

① 校区構成地区の概況（人口・世帯、運営の特徴等）

（令和4年3月31日現在）

区分	山田地区		高木地区		折立地区		古田地区		校区全体	
14歳以下	男	15人	男	25人	男	32人	男	60人	男	132人
	女	9人	女	28人	女	21人	女	50人	女	108人
	計	24人	計	53人	計	53人	計	110人	計	240人
15歳～ 64歳	男	55人	男	119人	男	128人	男	298人	男	600人
	女	47人	女	117人	女	104人	女	264人	女	532人
	計	102人	計	236人	計	232人	計	562人	計	1,132人
65歳～ 74歳	男	14人	男	29人	男	40人	男	71人	男	154人
	女	13人	女	39人	女	48人	女	83人	女	183人
	計	27人	計	68人	計	88人	計	154人	計	337人
75歳以上	男	17人	男	37人	男	37人	男	82人	男	173人
	女	17人	女	50人	女	48人	女	121人	女	236人
	計	34人	計	87人	計	85人	計	203人	計	409人
計	男	101人	男	210人	男	237人	男	511人	男	1,059人
	女	86人	女	234人	女	221人	女	518人	女	1,059人
	計	187人	計	444人	計	458人	計	1,029人	計	2,118人
世帯数	44世帯		151世帯		167世帯		382世帯		744世帯	
世帯当り 構成員数	4.30人		2.90人		2.70人		2.69人		2.84人	

■ 山 田



山田公民館

山田地区は、山に囲まれた農業が中心の地域で、校区内でも44世帯と一番小さい地区です。隣近所とのつながりも強く、自治会組織もまとまりがあり、地区の行事へも積極的に参加し活動も盛り上げています。年一回の道役や2箇所の花壇を、全世帯で管理しています。

歴史のある泉福寺があり、七福神めぐりの一つにもなっています。季節になると多くの方が訪れ、にぎわいを見せていました。地区に沿って流れる免々田川では、季節になるとホテルが舞う様子が観察でき、自然豊かなところです。

■ 高 木



高木公民館

高木地区は、校区の東側に位置しており、世帯数は151世帯で農業が中心の地区です。地区の南にそびえる山の中腹からは、三河湾の素晴らしい景色が一望できます。

国道259号線沿いは宅地造成も盛んであり、多くの観光客でにぎわう飲食店もあります。旧道沿いには海苔の加工販売店もあり、三河湾の自然の恵みを生かした産業も盛んです。

地区の北側の海岸付近には公共下水道の処理施設があり、清田校区の下水処理を行っています。破岩池地区の防災ダム工事は平成29年に完成し、ハザードマップが作成されるなど、防災に対する意識も一層高まっています。

■ 折 立



折立公民館

折立地区は167世帯で、農業が盛んな地区ですが、海苔の養殖などの漁業も行われています。この地区は、65歳以上の高齢者数が173人で、高齢化率は37.8%と、他の3地区に比べて高くなっています。

三河湾沿いには船を停留する港があり、時期になるとアサリの収穫や海苔の養殖が盛んに行われています。

■ 古 田

古田地区は世帯数が382世帯で、校区内で一番多く、清田市民館が置かれている中心地です。また、市役所の渥美支所をはじめ渥美文化会館や郷土資料館などの公共施設が多くあります。また、郵便局、大型店舗の進出、愛知みなみ農業協同組合本店の移転もあり、渥美地区の中心地としても栄えています。

須賀社の夏の祭は、お囃子保存会の方々の指導により、小学生を中心に笛や太鼓のお囃子が受け継がれ、伝統的な祭りの維持に努めています。



清田市民館（旧古田公民館）

第3項 校区等のまちづくり経過等

① 校区の歴史等の概要

清田校区は、海、山、川に恵まれた自然豊かな地です。この自然環境を生かし古くから人が住んでいたことがわかっています。福江湾に注ぐ免々田川の清流にはゲンジボタルが生息し、その河口には干潟が広がり、海には多くの魚介類が生息し、古くからこの地域の人々に海の恵をもたらしていました。

古田、折立、高木地区には、弥生時代の貝塚があったのも、これら海の幸に恵まれた環境であったからです。山田地区は聖地として古くから人々の信仰を集めていたようです。ここには渥美半島随一の由緒ある泉福寺が鎮座し、鎌倉時代から室町時代には墓地が営まれていました。高木地区の泉福寺北側の山腹から山麓にも、寺院・神社が集中し、信仰の山とも言うべき場所です。

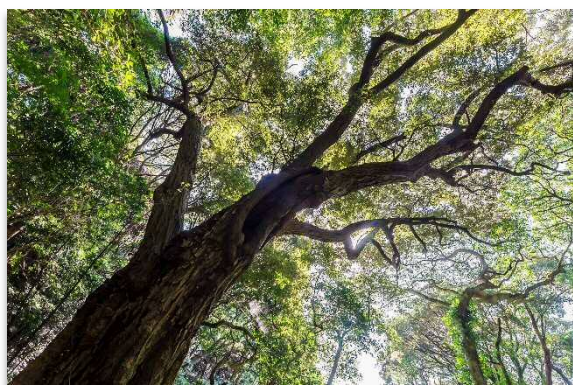
古田地区は、かつては海上交通の要として栄え、市街化の中心地でもあり、昭和48年のバイパス開通以降、交通の中心は旧道から現在の国道に移り、住宅・商業地域が広がっています。

地区のなりたち

地区	江戸時代	明治22.10.1～	明治39.7.4～	昭和30.4.15～	平成17.10.1～
古田	古田村	清田村	福江町	渥美町	田原市
折立					
高木	高木村				
山田	山田村				

② 校区の主な文化財

校区は自然・歴史資源に恵まれています。とくに泉福寺周辺には、多くの文化財が残されています。



← シイの木

幹の周りは4mもあり「たはらの巨木名木百選」に選ばれています。(市指定天然記念物)

参道石段 →

江戸時代に築かれた石段で、265段あります。
(市指定史跡)





中世墳墓

鎌倉時代から室町時代にかけて作られたお墓の跡です。発掘調査の結果、約90基程度のお墓があったことがわかりました。ここは渥美半島でも特別な場所だったようです。(市指定史跡)



泉福寺

現在の本尊である十一面観世音菩薩立像1躯と昭和37年の火災により焼損した背面に鎌倉時代の銘がある薬師如来坐像1躯が市の文化財となっています。

間宮屋敷跡

元和元年(1615年)、畠・古田・亀山・日出・伊川津を治めた旗本間宮之等の隠居屋敷跡。関ヶ原の戦い、大坂冬の陣・夏の陣で武功をあげ、徳川家康の旗本として活躍した人物でした。元和5年に隠居し戸田氏へ支配は変わりましたが、隠居屋敷と間宮家(尾張藩士として)は明治時代まで残りました。折立地区にあり、現在は農地になっています。

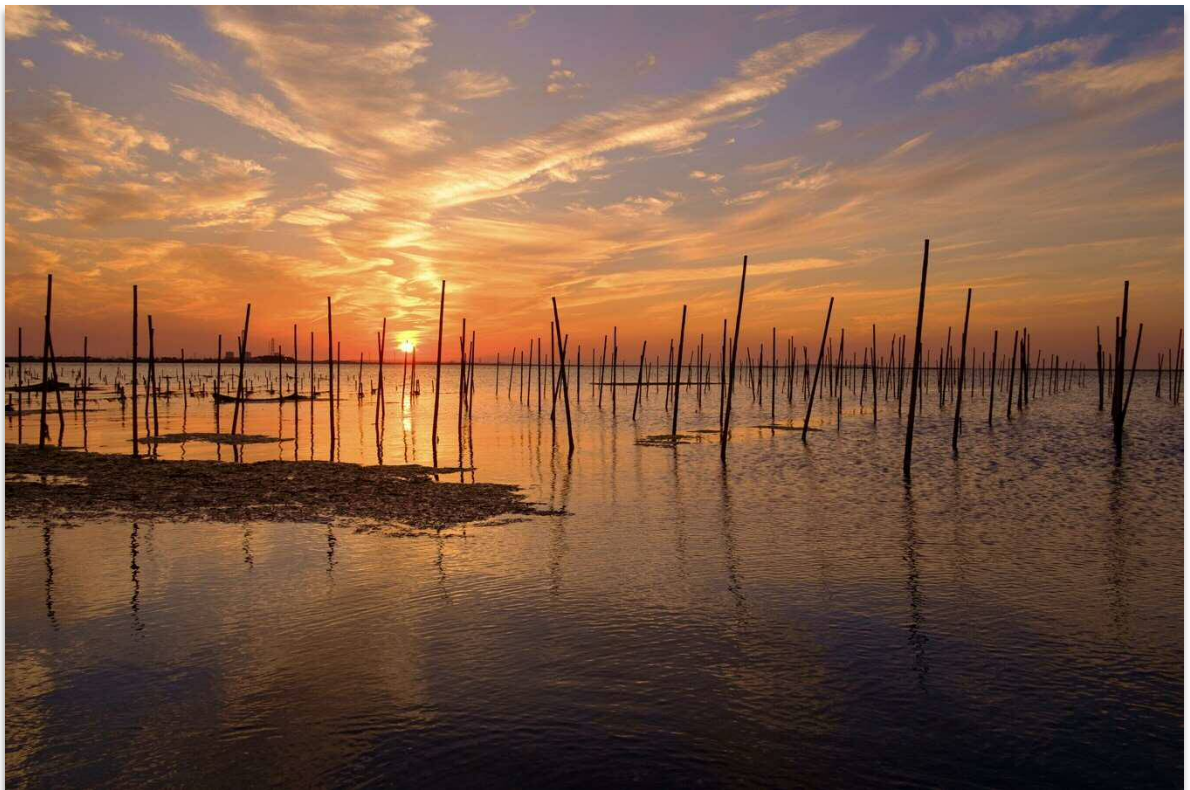


③ 校区内で行われた主な事業

実施年	事業等内容
昭和33年	清田小学校プール建設
35年	清田保育園新築
37年	町営宮ノ前住宅30戸建設
38年	豊川用水事業に伴う土地改良事業開始
39年	清田小学校校舎建設
40年	町営高木尋畑住宅20戸建設
41年	町営高木中畑住宅20戸建設
42年	国道259号全面舗装・渥美電報電話局開局・清田小学校屋内運動場建設
43年	初立ダム完成・豊川用水通水開始・県立自然公園指定
45年	土地改良事業が完成・市街化区域、市街化調整区域設定
47年	高木児童遊園設置
48年	国道259号バイパス開通・清田小学校校舎建設(昭和51年まで継続)
49年	上水道一部(清田校区ほか)通水・山田公民館開館
51年	清田小学校校舎建設
53年	社会福社会館建設(現渥美商工会事務所)
55年	清田保育園移転(現保育園)
56年	農村環境改善センター開館・高木、折立、古田公民館開館
58年	渥美町役場新庁舎岡ノ越に完成
60年	清田小学校プール移転(現在の場所)
平成 2年	町営宮ノ前住宅建設(平成3年まで継続)
6年	文化会館開館(現田原市渥美文化会館)
11年	公共下水道工事高木地区で開始
14年	泉福寺中世墳墓発掘調査
15年	公共下水道供用開始(高木、折立、古田)
17年	渥美町閉庁式・渥美町が田原市へ編入合併・清田市民館開設
18年	第1回 市民館まつり開催(11月26日)
19年	農地・水・環境保全対策事業開始
20年	市民館駐車場、多目的広場用地取得・防災備蓄倉庫新築
21年	市民館改修工事(エレベーター・多目的トイレ設置、バリアフリー化)・校区防災マップ作成・合併により渥美漁業協同組合発足、古田地区に事務所設置
22年	清田地域環境保全会が「農地・水向上活動の部」で、愛知県知事賞受賞
23年	市民館修繕(フェンス設置工事等)・校区津波対策避難経路マップ作成
27年	弁財ヶ浜海浜公園整備事業(植栽、避難道整備)
28年	市民館改修工事(和室改修)・倉庫新築
29年	公共下水道事業完成(山田)
令和 2年	市営高木住宅取り壊し



清田から望む富士



夕焼けと三河湾

第2章

現況・課題等

第1項 地域課題・長所・資源

計画に基づき、徐々に対策が進められる中、これまで抱いていた課題意識に少しずつ変化が表れているものの、基本的な校区住民の意識は、当初計画策定時から大きな変化がないと考えられます。ここでは、過去の住民意識調査の見直しを図りつつ、現状の再認識と地域課題、長所、資源について示します。

① 住民意識

(1) 地域の暮らしやすさ

渥美地区の中心市街地に位置し、豊かな自然に恵まれ、公共施設や商業施設も比較的近くにあることから、概ね過ごしやすい地域であると感じています。校区を走る国道259号には2kmほどの真っすぐな歩道が整備されており、住民がウォーキングやジョギングを楽しむ姿が見られます。

しかしながら、路線バスの運転間隔が長いため、田原地区市街地や豊橋方面への交通アクセスには不便を感じています。

(2) 住まいの周辺環境

季節になると様々な鳥や虫が飛び交うなど豊かな自然に囲まれ、静かで落ち着いた環境の中で過ごすことができます。海岸地域の一部は津波避難区域になりますが、多くの地域は高い所にあり、津波の影響を受けにくい所です。

農地が多く広がるため、大雨による冠水・氾濫などの影響が出やすく、土砂流出が問題となっています。また、道路整備においては、道幅の狭さや見通しの悪さなどの解消を望む声が上がっています。

(3) 人の結びつき

出会った人同士が何気なく挨拶を交わしたり気軽に話をしたりと、親しみが持てる人間関係が築かれていると感じます。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、それまで行われていた会合や行事などが中止や変更されたり、地区老人会が全て解散されたりするなど、これまで築かれてきた地域の交流の機会が薄れてきていると感じられます。

地域防災など助け合いが必要な場面での対応を円滑に図るためにも、地域全体で行います。

② 地域活動

(1) 地域活動の認知度・参加状況・意見等

市民館で行われてきた行事も恒例となり、校区の人たちの意識も高まってきました。新型コロナウイルス感染症のため、活動の中止や内容の見直しを迫られることがありましたが、各行事の意義やあり方を見直し、充実した活動になるように努めています。

さらに、地域の方々の意見を大切にしながら、より参加しやすい行事の提案に努め、地域のつながりを深めていくことが大切だと感じます。

③ 生活基盤

(1) 公共系の生活基盤の状況・意見

道路については、狭いところや見通しの悪いところが多くあり、道路幅・歩車道分離やカーブミラーの設置等を継続して要望していく必要があると感じています。

河川や水路の排水設備については、大雨による氾濫や土砂の堆積による冠水箇所が多くあり、河川改修や側溝の整備が必要であると感じています。

(2) 生活・自然環境の状況・意見

校区内には、ホテルの飛び交う免々田川や金刀比羅山・泉福寺の散策道、三河湾が一望できる弁財ヶ浜など、豊かな自然が感じられる場所が多くあります。これらの自然環境を保護するとともに地域資源として有効活用する必要性を感じています。

生活環境では、道路や空き地にごみが捨てられるなど、行為に対するマナーの低下が感じられます。また、海岸には三河湾から流れ着いたごみが多く打ち寄せられるため、弁財ヶ浜の清掃活動以外にも、校区の方々の意識を高める取り組みが必要であると感じています。

イノシシによる作物被害は、高木地区や山田地区の農地で続いています。有害鳥獣対策として根絶を目的とした捕獲の推進が望まれます。

(3) コミュニティ施設等の状況・意見

改修された市民館では、利用者の意見を取り入れ、誰もが親しみのもてる施設として活用できるように努めています。

各自治会では自治会ごとの行事で公民館を活用し、人々が集う場所としての取り組みが進められています。

また、児童公園の遊具の老朽化が目立つことから、改修の推進が望まれます。

④ 産業基盤など

(1) 地域産業の状況・意見等

農業については、経営者の高齢化や後継者不足などによる遊休農地の増加が進み、漁業については、地場産業であるアサリの収穫量の減少が危惧されています。

特徴のある農業基盤の確立や、農産物・海産物等の特産品を利用した商品の開発による産業の振興の必要性を感じています。

第2項 土地利用計画・整備計画

① 土地利用上の規制

清田校区は、海、山、川など変化に富んだ地形のうえ、市内でも稀な多種・多様な土地利用がなされている校区ともいえます。自然環境に恵まれた校区の特性を生かし、まちづくりの将来像の実現に向け、土地利用上の規制を調整しながら進めることとします。

② 都市計画区域・市街化調整区域

国道周辺は市街化を促進すべき『市街化区域』に、農村地域は市街化を抑制すべき『市街化調整区域』に指定されています。そのなかでも古田地区は、市街地に隣接している高台で、行政・文化拠点にも隣接している区域であるため、長期的な視点から市街化区域への編入を視野に入れている地域であり、また、津波浸水想定区域に居住する世帯の受け皿として、新規の住宅地を供給するための候補地となっています。

③ 農業振興地域・農用地など

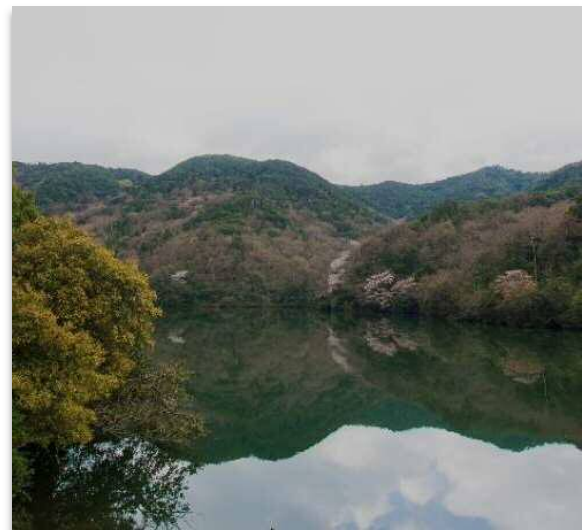
校区内の大部分が、『農業振興地域』に指定されています。農業振興地域では、農業用途以外への転用が規制されています。特に『農用地区域』の指定地域は、原則として、農業の振興に寄与する農道や用排水路などの農業用施設以外への転用が厳しく制限されています。

④ 国定公園・県立自然公園など

校区内の大半は『渥美半島県立自然公園』の普通区域に指定されており、一部は『三河湾国定公園』に指定されています。公園区域では自然環境や景観の保全のため、土地の形状変更や構築物の建築など一定の行為が規制されており、行為をしようとする者は、許可申請、届出などの手続きが必要となります。

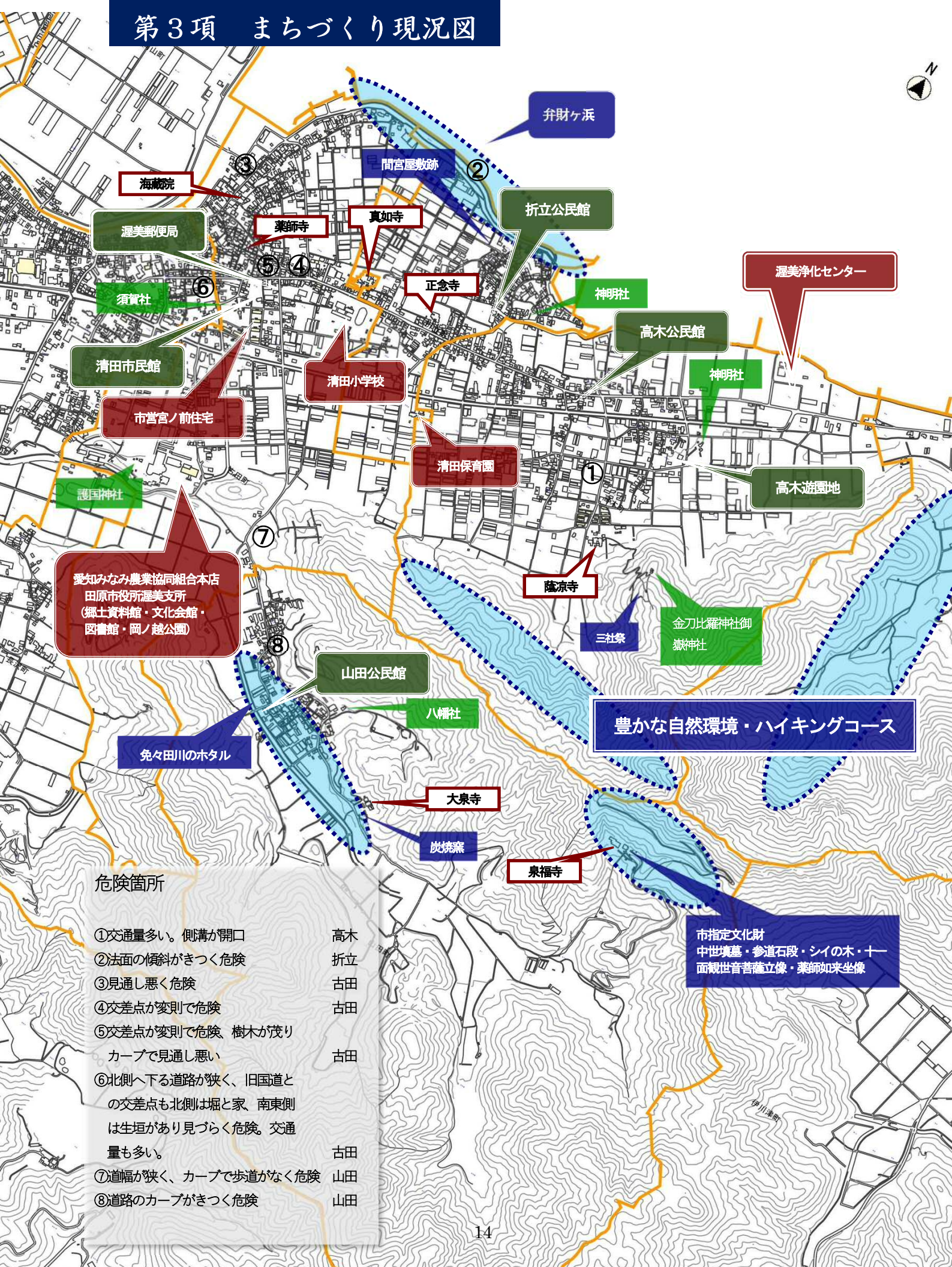


高木海岸



清田池

第3項 まちづくり現況図



弁財ヶ浜

間宮屋敷跡

折立公民館

海蔵院

渥美郵便局

薬師寺

真如寺

正念寺

神明社

渥美浄化センター

須賀社

高木公民館

清田市民館

清田小学校

神明社

市営宮ノ前住宅

清田保育園

高木遊園地

護国神社

愛知みなみ農業協同組合本店
田原市役所渥美支所
(郷土資料館・文化会館・
図書館・岡ノ越公園)

薩涼寺

金刀比羅神社御
嶽神社

豊かな自然環境・ハイキングコース

山田公民館

八幡社

免々田川のホタル

大泉寺

炭焼窯

泉福寺

市指定文化財
中世墳墓・参道石段・シイの木・十一
面観世音菩薩立像・薬師如来坐像

危険箇所

- | | |
|---|----|
| ①交通量多い。側溝が開口 | 高木 |
| ②法面の傾斜がきつくと危険 | 折立 |
| ③見通し悪く危険 | 古田 |
| ④交差点が変則で危険 | 古田 |
| ⑤交差点が変則で危険。樹木が茂り
カーブで見通し悪い | 古田 |
| ⑥北側へ下る道路が狭く、旧国道と
の交差点も北側は堀と家、南東側
は生垣があり見づらく危険。交通
量も多い。 | 古田 |
| ⑦道幅が狭く、カーブで歩道がなく危険 | 山田 |
| ⑧道路のカーブがきつくと危険 | 山田 |



山からの清田校区

海からの清田校区



第3章

将来像等

第1項 地域コミュニティ活動の必要性

新型コロナウイルス感染症対策に伴う活動の自粛や少子高齢化による人口構成の歪さは、住民意識や人と人のつながりにも変化を生じさせ、地域における様々な問題解決を今まで以上に困難にしています。

そして、地方分権社会における地域課題への対応は、まず、隣近所による「共助」、中でも地域コミュニティによる助け合い活動(地域性に応じた効果的な活動展開)に大きな期待が寄せられ、行政はその活動を支援し、地域コミュニティでは対処できないことに取り組むという仕組みとなっています。

第2項 地域の将来像

豊かな自然環境

みんなに愛される地域

みんなで作る



潮干狩り



水田の生き物観察

第3項 まちづくりの方針

「地域の将来像」を実現するために、分野ごとの目標を次のとおり掲げます。

■ 自然環境

豊かな自然を愛し、自然と共に生きる清田

■ 地域づくり

笑顔があふれる、潤いと活力に満ちた清田

■ 地域・人の和

世代を超えた、信頼と連帯感に支えられた清田

■ 健康・子育て

みんなが元気な、暮らしやすい清田

■ 安心・安全

安らぎのある、安心で安全な清田



市民館まつり



お楽しみ抽選会



交通指導



交流スポーツ大会

第4章

主要施策

第1項 施策の展開

将来像等を実現するための施策手順として、地域意識・連帯感づくりから具体的活動への展開を図ります。

また、まちづくりの方針に掲げる施策実現においては、「目標・目的の共有化」「全員参加の活動体制」「各種団体の育成・人材の養成」に留意した取組が必要となります。

第2項 まちづくりの主要施策

① 自然環境

豊かな自然を愛し、自然と共に生きる清田

主要施策名	施策内容	種別		実施主体				
		ソフト	ハード	地区	校区	団体	市	国県
里山づくり	泉福寺からタコウド(山)、金刀比羅神社にかけての散策道を整備するなど里山づくりの推進を図る。イノシシの捕獲の推進を図る。	●	●	○	○	○	○	
ホタル等の育成	「免々田川を守る会」の活動を中心に免々田川の清掃や作った竹炭で水質浄化を図り、ホタルや川魚の保護に努める。	●		○	○	○		
弁財ヶ浜の歩道整備(海浜公園保全)	弁財ヶ浜周辺の歩道辺を整備し、誰もが気持ちよくウォーキングできるような場所としての保全に努める。	●		○	○		○	○
溜池の保全	清田池、破岩池、黒見池周辺の草刈等の環境整備を行い、散策の場所として整備する。	●		○	○			

- ・ハードは、モノ（目に見える形で提供できる物）を作る業務
- ・ソフトは、サービスなどの役務（形として残らない物）を提供する業務



免々田川のホタル



竹炭づくり体験

② 地域づくり

笑顔があふれる、潤いと活力に満ちた清田

主要施策名	施策内容	種別		実施主体				
		ソフト	ハード	地区	校区	団体	市	国県
花いっぱい活動	公共施設や道路沿いに花壇を設置したり市民館まつりで苗を配布したりするなど、花いっぱい活動を推進する。	●	●	○	○		○	○
環境美化活動	「田原を美しくする推進デー」にあわせて、草刈りや除草、ゴミ拾いを実施する。	●		○	○	○	○	
後継者育成対策	社会福祉協議会や農協が実施する婚活イベント等の開催に、地域として協力体制をとる。	●		○	○	○	○	
生活ルールを守る啓発活動	ゴミ出しのルール、犬の散歩時の糞処理、路上駐車違反等、回覧などでお知らせをし、ルールを守るようにする。	●		○	○			○
公共下水道への接続推進	公共下水道への接続のPRを推進する。	●	●	○	○		○	○



環境美化作業



花の苗の配布



山田地区の免々田川の清流



緑のカーテン

③ 地域・人の和

世代を超えた、信頼と連帯感に支えられた清田

主要施策名	施策内容	種別		実施主体				
		ソフト	ハード	地区	校区	団体	市	国県
潮干狩り	校区民の参加を募り地元の海岸で開催している。海岸清掃も同時に行い、環境美化と校区民の交流を図る。	●		○	○			
市民館まつり	子どもからお年寄りまでの多くの方々の参加による市民館まつりを開催し、校区民の交流を図る。	●		○	○	○		
スポーツ大会	ソフトバレーボール、ゴルフ等の大会を開催して校区民の交流を図る。	●		○	○			
清田ウォーキング	校区の市街地を散策して、親子のふれあいや校区民の交流を図り、地域の新たな発見や良さを知る。	●		○	○			
各種団体育成事業	子ども会をはじめとする各種団体に対し支援を行い、活動の活性化を図る。	●		○	○	○		
文化交流事業	誰もが親しみやすい市民館となるよう趣味の教室を開催し、校区民の交流を図る。	●		○	○	○	○	



校区大運動会



ソフトバレーボール大会



校区ゴルフコンペ



きよた☆宝市

④ 健康・子育て

みんなが元気な、暮らしやすい清田

主要施策名	施策内容	種別		実施主体				
		ソフト	ハード	地区	校区	団体	市	国県
高齢者健康づくり	市民館を活用して高齢者の健康増進、介護予防のため運動教室等を開催する。	●	●	○	○		○	
あいさつ運動	校区の人が誰でもどこでも明るくあいさつができるように「あいさつ運動」を勧める。	●		○	○			
多目的広場の活用	親子のふれあい、高齢者の健康づくり、子ども達の遊び場として多目的広場の整備を進める。	●	●	○	○		○	
スポーツ教室	ディスクドッチなどのスポーツ教室を開催し、健康づくりを進める。	●		○	○			



健康体操教室



スポーツ教室



高齢者健康づくり教室



あいさつ運動

⑤ 安心・安全

安らぎのある、安心で安全な清田

主要施策名	施策内容	種別		実施主体				
		ソフト	ハード	地区	校区	団体	市	国県
防災訓練	防災リーダーを中心に防災訓練等を実施し、防災意識の向上を図る。	●		○			○	
避難所開設運営訓練	各自治会役員を中心に、避難所開設に必要な活動を具体的に確認しながら、安全で効率的な運営を実施する。	●			○	○		
高齢者等見守り活動	独居老人や障害者などの家庭が安心して暮らせるように、地域で見守り活動を実施する。	●	●	○	○		○	
交通安全施設点検活動	カーブミラー、防犯灯等の点検や道路の草刈、清掃活動を実施する。	●	●	○	○		○	○
危険箇所の点検活動	溜池、河川、海岸等の危険箇所の見回りをし、草刈や注意看板の設置を行う。	●	●	○	○		○	○
道路、排水路の整備	狭い危険な道路や排水の悪い水路の調査をし、改修整備を市へ要望して危険箇所を減らす。		●	○			○	○



避難所開設運営訓練



防災講演会

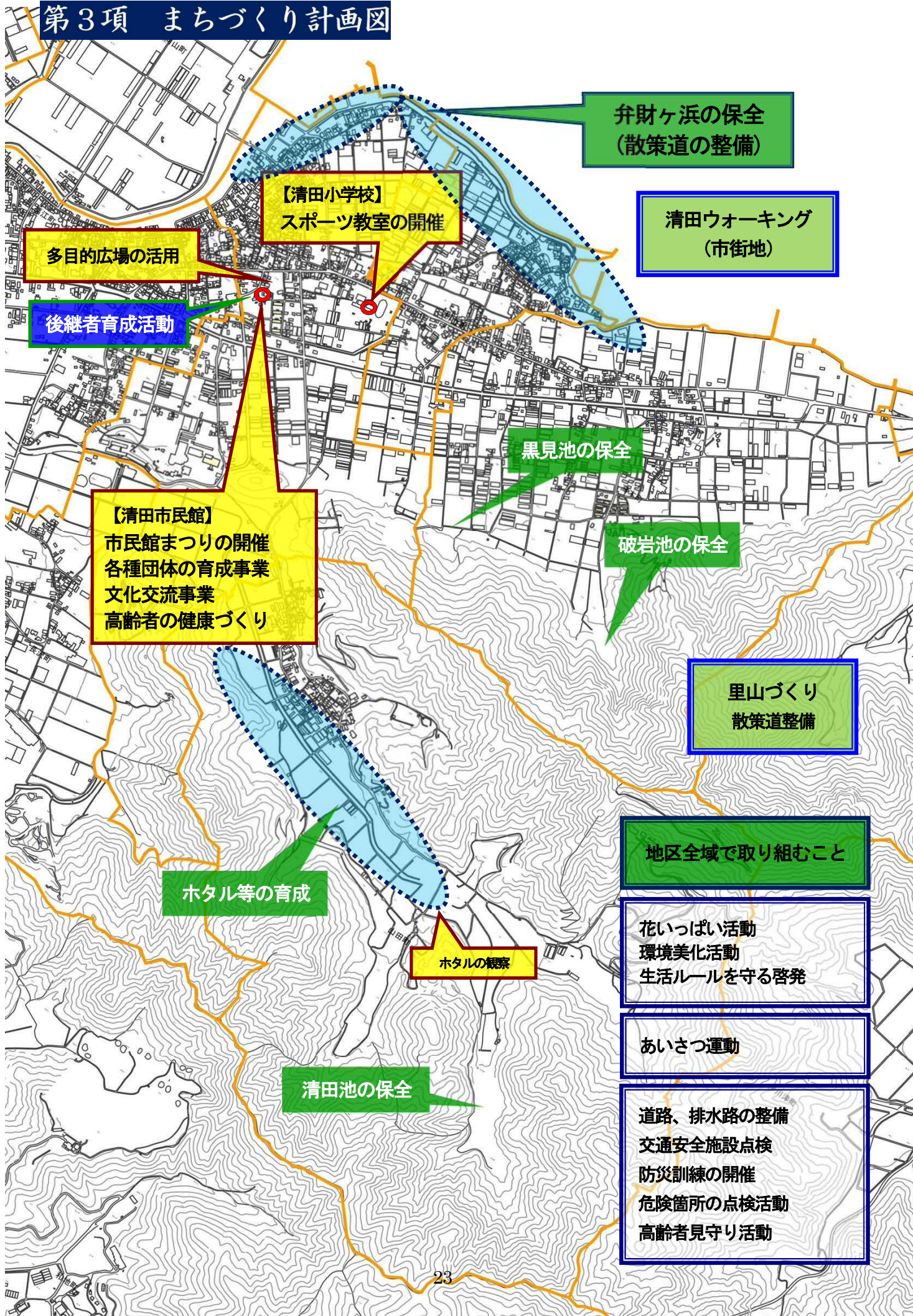


一斉防災訓練



AED講習会

第3項 まちづくり計画図



弁財ヶ浜の保全
(散策道の整備)

【清田小学校】
スポーツ教室の開催

清田ウォーキング
(市街地)

多目的広場の活用

後継者育成活動

【清田市民館】
市民館まっりの開催
各種団体の育成事業
文化交流事業
高齢者の健康づくり

黒見池の保全

破岩池の保全

里山づくり
散策道整備

ホタル等の育成

地区全域で取り組むこと

ホタルの観察

花いっぱい活動
環境美化活動
生活ルールを守る啓発

清田池の保全

あいさつ運動

道路、排水路の整備
交通安全施設点検
防災訓練の開催
危険箇所の点検活動
高齢者見守り活動

第5章

推進体制

① 進行管理

- この計画を実現するため、清田校区コミュニティ協議会役員会等（以下「校区協議会」という）が中心となって、主要施策等の進捗状況を確認し、各施策の主体となる住民、地区自治会、校区協議会、各種地域団体、行政等の事業実施を促します。

② 計画の周知

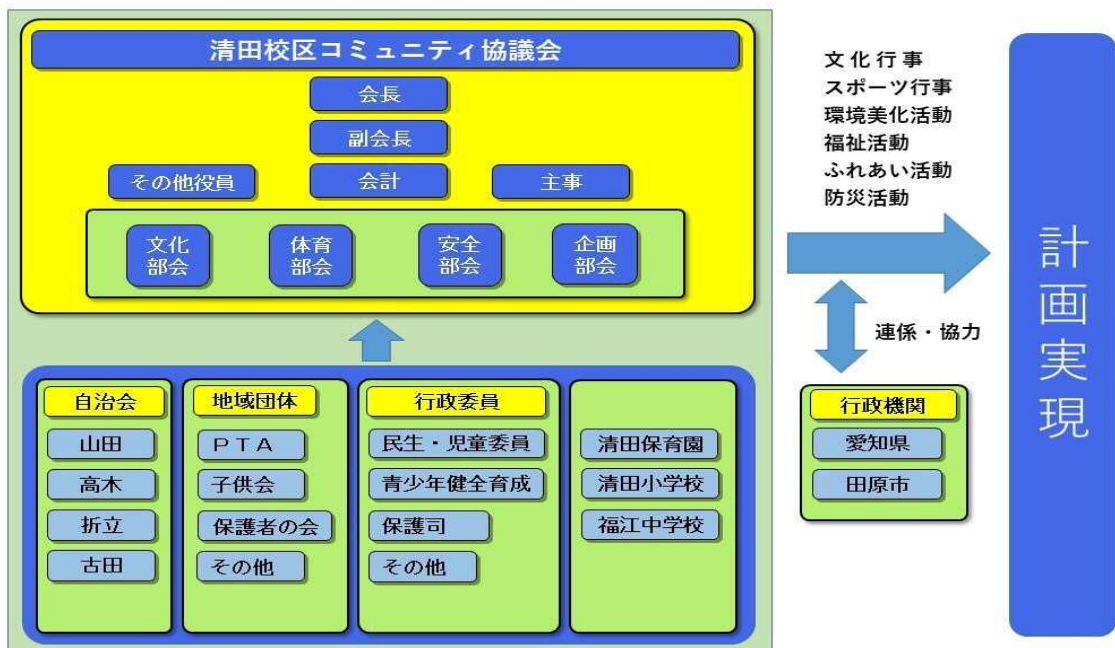
- 計画書（報告書・概要版）などを作成し、校区内の住民・各種団体等に計画内容を周知します。
- 校区協議会の役員は、ほとんどが年度交替するため、毎年度総会において計画概要を紹介することで、地域課題・目標・施策等の共通認識を形成します。

③ 実施の推進

- 校区協議会として取り組むべき事業は、この計画に基づき毎年度の総会において事業計画・予算に盛り込み、実施します。
- 行政に実施を求める施策は、行政懇談会における協議・調整や要望書提出などを行います。
- このような活動を展開するために、校区内の地域団体・人材を育成し、地域活動の担い手の拡大を図ります。

④ 実現の調整

- 校区協議会は、個々の住民・各種団体・地区自治会等では実現できない課題対応を関係団体が連携して進める組織ですので、個々の施策実施状況を把握し、地域課題が解決されるように総括的な調整を行います。



① 清田校区まちづくり推進計画策定委員名簿

今回の計画改訂は、清田校区コミュニティ協議会において、地区会長会議が中心となって検討し、令和5年3月31日に原案作成し、令和5年4月の総会で決定しています。

役 職	氏 名	所 属 団 体・役 職
会 長	木村敏和	清田校区コミュニティ協議会会長
副 会 長	木村博一	高木自治会会長
	齋藤久士	折立自治会会長
	山本博正	古田自治会会長
会 計	高橋章人	山田自治会会長
会計・書記	齋藤律子	清田市民館主事
アドバイザー	加藤兼三	まちづくりアドバイザー（チーフ）
	柏原由佳	まちづくりアドバイザー（アシスタント）
	白谷尚大	まちづくりアドバイザー（アシスタント）

② 計画策定の経過

期 日	場 所	会 議 内 容	議 題 等	参加人員	
令和4年度	4月22日	清田市民館	事前打合せ	計画策定の進め方、役員選出、スケジュール、現況課題チェック	5名
	7月1日	清田市民館	第1回策定会議	計画書前半の内容確認	9名
	7月22日	清田市民館	事前打合せ	計画書前半の修正事項の確認、後半の内容確認	5名
	8月16日	清田市民館	第2回策定会議	計画書後半の修正事項の確認	9名
	10月3日	清田市民館	第3回策定会議	計画書全体の確認	9名

計画策定会議



作成 清田校区コミュニティ協議会

発行 田原市地域コミュニティ連合会

